

頭のいくつもある男（相生市）

昔、むかし、ある村で新年宴会〈えんかい〉が開かれていました。

酒もよくまわり、にぎやかなことになりました。

ある人が酒の酌〈しゃく〉をし、つい、お金持ちの旦那〈だんな〉さんの着物をよごしてしまいました。

おわびをすると「こんな着物はなんぼでもある、かまわないよ。」といいました。

同じ場でのんでいた一人の男は、なるほどあんなふうにいえばいいのだな、と思いました。

酌をしてさわいでいる時、つい一人の男の手が頭にあたりました。

「すまなんだ、かんにんしてくれ」といいました。

すると、あてられた男は、

「こんな頭なんぼでもある。気をつかってもらわなくてもよい。」といいました。

